

保存版

くろべがわこうずいひなんちず
黒部川洪水避難地図

くろべがわりゅういきこうずい
(黒部川流域洪水ハザードマップ)

がいようばん
概要版



Flood Hazard Map of Kurobe City



平成17年11月

黒部市

わが家の防災メモ

～家族みんなで万一の連絡先を書いておこう～

わが家の避難場所		黒部川の洪水のときは	それ以外のときは
家族が離ればなれになったときの集合場所			
緊急連絡先		自宅	
		携帯	
その他の連絡先		自宅	
		携帯	
警察110 (☎54-0110)	消防・救急119 (☎54-0180)	市役所 (☎54-2111)	北陸電力 (☎0120-776453)
		NTT (☎113)	
名前	生年月日	血液型	職場/学校
	年 月 日	型	電話
	年 月 日	型	電話
	年 月 日	型	電話
	年 月 日	型	電話
	年 月 日	型	電話
	年 月 日	型	電話
	年 月 日	型	電話

※ 災害時は携帯電話がつながりにくくなりますが、携帯メールや公衆電話は比較的つながります。
 ※ ご近所のお年寄りや身体の不自由な方も記入しておきましょう。

●インターネット防災情報サイトの紹介

国・県・市の防災情報がインターネットで簡単に入手できます。
 ぜひアクセスしてください。

(国土交通省) 防災ネット富山
<http://www.palette.go.jp/bousainet/kasen/>
 (富山県) 富山防災WEB
<http://www.bousai.pref.toyama.jp/>
 (黒部市) 黒部市HP
<http://www.city.kurobe.toyama.jp/>

●災害時の声の伝言板～災害用伝言ダイヤル171

(「忘れていない」と覚えよう)

災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれないことがあります。そんなときは「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。

(録音方法) 171→1→0765→自宅の番号

(再生方法) 171→2→0765→自宅の番号

※ くわしい案内は、0180-99-7524をダイヤルすると聴くことができます。

●非常持出品

子エツノ種	項目
	非常食(レトルト食品、缶詰)
	飲料水(ペットボトル)
	応急医薬品(消毒液、ばんそうこう)
	貴重品(現金、通帳、健康保険証)
	生活用品(衣類、軍手)
	懐中電灯(予備電池も)
	携帯ラジオ(予備電池も)

この避難地図に関するお問い合わせ先 黒部市役所総務課 電話 (0765) 54-2111 Eメール soumuka@city.kurobe.toyama.jp

●はじめに



平成16年7月に相次いで発生した新潟・福島豪雨災害と、福井豪雨災害は、水害の恐ろしさをまざまざとみせつけ、今後の防災対策に多くの教訓を残しました。

過去に黒部川の洪水を幾度も経験している本市では、これらの教訓を活かし、より具体的かつ実践的な洪水対策を推進するため、国土交通省及び黒部川流域3町と協力して、平成17年4月に「黒部川流域洪水ハザードマップ」（洪水避難地図）を策定し、9月に開催した黒部市防災会議において「黒部市地域防災計画」に盛り込みました。

災害の被害を最小限に食い止めるためには、市民の皆さん一人ひとりが日頃から正しい知識を身につけ、家庭や地域で「自分の安全は自分で守る」ことを基本に行動することが、なによりも大切です。

本書を家庭や地域のなかで活用され、役立てていただければ幸いです。

平成17年11月

黒部市長 堀内 康男

●目次

◆はじめに	1
◆過去の洪水の記録	2 ■
◆地図上の水位について	2 ■
◆黒部川の洪水時の避難先	3 ■
◆洪水から身を守るための10か条	5 ■
◆ハザードマップ Q&A	6 ■
◆わが家の防災メモ	7 ■

過去の洪水の記録

黒部川流域では、過去に幾度もの大洪水に見まわられてきました。私たちは、これらの災害を忘れることなく、教訓として語り継いでいかなければなりません。

昭和9年洪水

最大流量3,060m³/秒(愛本)。各地で堤防が決壊。死者7人、負傷者133人、多数の家屋流失などが発生しました。これを契機に、黒部川では国の直轄事業(河川改修)が着手されました。



昭和9年7月 権蔵橋

昭和44年洪水

最大流量5,661m³/秒(愛本)。入善町で堤防が決壊し、愛本橋が流失。愛本えん堤からあふれた濁流が住宅地域に流れ込むなど、田畑、住宅地を含む約1,050haが泥の海と化しました。



昭和44年8月 下黒部橋

昭和27年洪水

最大流量4,869m³/秒(愛本)。梅雨前線による豪雨で若栗堤、浦山堤、上浦山堤、下立堤が決壊しました。若栗、大布施、村椿、生地等の田畑が流失・冠水し、農産物に大きな被害を受けました。



昭和27年7月 愛本えん堤

平成7年洪水

最大流量2,378m³/秒(愛本)。上流部で大規模な崩壊が発生。大量の土砂が流れ込み、黒部峡谷鉄道も寸断されました。中流部では10tトラック120万台分の土砂が堆積しました。



平成7年7月 黒部峡谷鉄道黒薙川引込み線被災状況

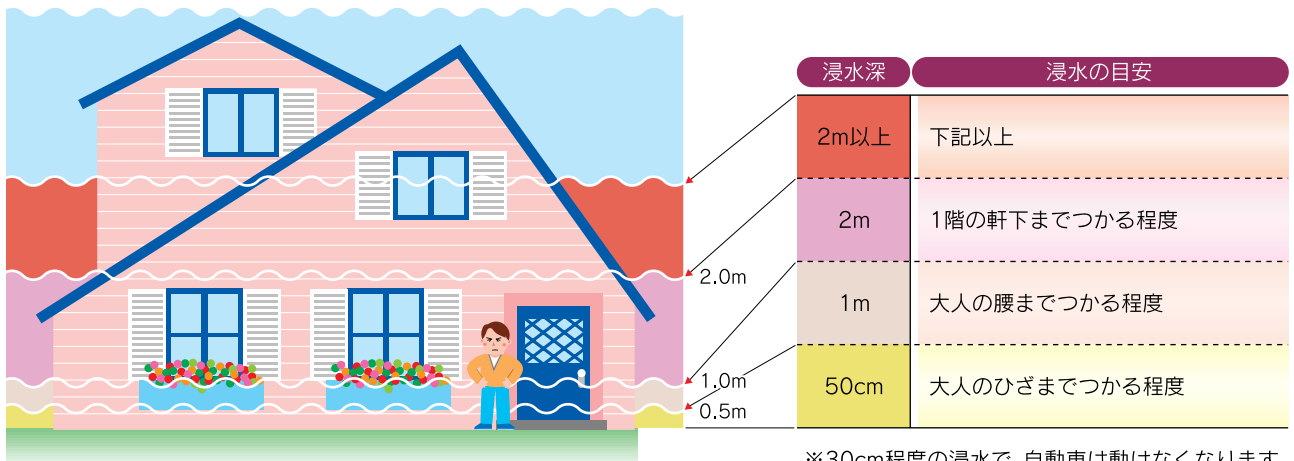
情報提供：国土交通省黒部河川事務所

このような、これまでに黒部川で起こった洪水を検討した結果、市では、次のような状況を、避難勧告等を検討する目安としています。

- ①(直接判断) 河川巡視により、破堤のおそれがある場合
- ②(数値判断) 累加雨量250mmあるいは、4時間前雨量が60mmを上回り、かつ愛本地点での流量が、2,000m³/秒に達した場合。(この状況は、過去50年間に8回発生しています。)

地図上の水位について

この避難地図は、**黒部川流域でおよそ100年に1回程度の大雨(黒部川流域の2日間雨量455mm)**を想定して作られています。浸水のおおよその目安を知っておくと、避難地図を見ながら避難をイメージするのに役立ちます。



洪水から身を守るための10か条

～日頃の備え編～

①避難地図で、まず確認しよう

- 自宅が最大どのくらいの浸水となるか、また、洪水は自宅までどのくらいの時間で到達するか確認しましょう。
- 洪水時の避難場所はどこになるのか確認しましょう。



②非常食や持ち出す物などの準備をしておこう

- 欲張らないで、必要最小限にしましょう。
- 貴重品、応急医薬品、懐中電灯や携帯ラジオ、乾電池も忘れずに。



③家の回りの点検を、大切な物は、高いところへ

- 大雨や台風に備え、家の回りも点検しましょう。
- 家具類、貴重品、水につかると困る物などは、あらかじめ高いところにおきましょう。
- 新潟豪雨では、これに時間をとられ、逃げ遅れた方が大勢おられました。

④町内で自主防災活動しよう

- 自主防災組織はまちぐるみで行う防災活動の拠点となるものです。
- 町内でいざというときの役割分担を決めておき、万が一に備えた訓練を行いましょう。

⑤家族で話し合いをしておこう

- もしものとき、家族がバラバラでは被害は拡大するばかりです。
- 9月1日の防災の日などを利用して、避難場所、避難路、危険箇所などを家族全員で下見したり、離ればなれになったときの連絡方法を決めておきましょう。
- 携帯電話が使えない事態に備え、災害用伝言ダイヤルの使い方を学習しましょう。



～安全な場所への避難編～

⑥まずは正しい情報をキャッチしよう

- 事実の一つ。テレビ・ラジオやインターネット、市、自主防災組織などから正しい情報をつかみ、的確な行動を。

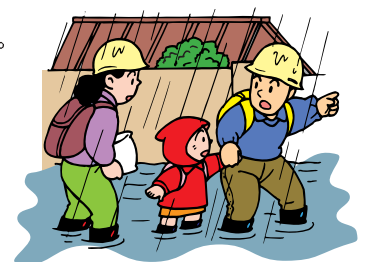


⑦警戒の呼びかけ・避難勧告などには従おう

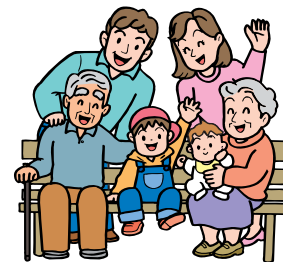
- 早めの行動が第一です。避難勧告がなくても危険を感じたら自主的な避難を。
- 破堤・浸水してからでは、避難したくてもできないケースがあります。

⑧避難は歩いて、みんなと一緒に行動しよう

- 自動車は、水深30センチ程度で動かなくなるばかりか、交通渋滞をまねき、緊急車両のさまたげとなります。(車での避難は絶対にやめましょう。)



- 避難は複数で行い、水路、マンホール、穴などに注意しましょう。
- 川の近くや橋を通過する避難は、大変危険です。
- ゴム長靴は中に水が入ると歩きにくくなりますのでご注意ください。



⑨ 近所で協力し、お年寄りや子どもを優先に

- 子どもや高齢者、身体の不自由な方、病気の人などは、避難に時間がかかるため、早めに避難させましょう。
- 高齢者や乳幼児、小学生、身体の不自由な方など避難に助けが必要な方には、日頃からコミュニケーションを図って、万一のときも積極的に協力しましょう。

⑩ もしも逃げ遅れたら無理せず2階へ

- 黒部川は、国内屈指の急流であるため、水の流れがとても速く、破堤後の避難は大変危険です。
- 破堤前の余裕を持った避難が大原則ですが、逃げ遅れた場合、無理は禁物です。自宅の2階や近所の鉄筋コンクリート造建物の高層階で、助けを待ちましょう。

ハザードマップ Q&A

Q ハザードマップって何ですか？

A 災害が起こったときに予想される被害状況や避難場所などを表した地図のことです。他県では、洪水災害のほか、地震や津波を想定したハザードマップがつけられている例もあります。



Q 布施川などその他の河川の洪水が示されていないようですが？

A 現在富山県では、県が管理する河川（2級河川）が洪水した場合の浸水深等について調査中です。この作業には、もうしばらく時間がかかります。
市では、県の調査結果の公表を待って、この避難地図の改定を行う予定にしております。その結果、今後予想浸水深が変動することも十分にあり得ます。特に、布施川流域にお住まいの方は、このことをふまえて、この避難地図をご活用ください。

Q 自宅の近くに避難所があるのに、どうして遠くの避難所まで避難する必要があるのですか？

A 黒部川が破堤した場合、黒部市内だけで約3万人が一度に避難する事態が想定されます。避難は、迫ってくる洪水からより遠くへ、また海側から山側へ逃げるのが基本になります。避難が必要なすべての方が避難できるように、また各町内からの距離が、おおむね歩いて避難する場合の限界といわれる2km以内となるように、黒部川が洪水した場合の当面の避難施設を選定しました。どうぞ、ご理解くださいますようお願いいたします。

Q 黒部ダムが直下型地震で決壊したらと考えると、心配で夜も眠れません。

A 日本では、活断層上にダムを造ることは許されておらず、直下型地震は考えにくいのですが、黒部ダムは、マグニチュード7クラスの直下型地震にも十分耐えられるように設計されていますので安全上全く心配ありません。

(情報提供：関西電力(株)北陸支社)